

## 新年のご挨拶



院長 大島 茂



謹んで新年の御慶びを申し上げます。

昨年中は県立心臓血管センターの病診連携、病病連携にご協力いただき、有難うございました。また、昨年是一般内科病棟を休止せざるをえなくなり、大変ご迷惑をお掛けしました。当分は同様の体制を続けざるを得ませんが、本年も宜しくご指導の程お願いいたします。

当センターでは以前から地域の先生方との連携を密にするよう努めてきましたが、今年は平成12年に循環器病センター(現・心臓血管センター)会議室で第1回群馬病診連携症例検討会を開催してからちょうど10年になります。この検討会ではミニレクチャーや症例提示を行っていました。これが現在、地域医療連携室主催で年6回開催している「群馬県立心臓血管センター症例検討会」の原型となっています。

平成17年の地域医療連携室設置、平成19年の地域医療支援病院承認等を経て、先生方には登録医として連携していただいておりますが、昨年11月までには、お蔭さまで500名からのご登録をいただき、12月末現在で389医療機関、507名となっています。今後、登録医療機関の先生方との連携を一層密にして紹介・逆紹介を推進するとともに、先生方のご意見を参考にしながら高度医療の提供を続けていきたいと考えています。

また、当センターでは平成22年度中にCT装置を更新して128列のマルチスライスCT(MDCT)の導入を予定しています。これによって外来での冠動脈疾患診断の精度が上がると期待しています。ご紹介いただく先生方にはMRIやCTの積極的な共同利用を今後とも宜しくお願いいたします。

地域医療連携室では、外山連携室長(兼、循環器内科第3部長)を中心として広橋看護師長、瀬下MSW、北村コンシェルジュが県内の医療機関、医師会を訪問させていただくなど、より良い病診あるいは病病連携を構築するため積極的に活動しています。当センターに対するご意見、ご要望等ありましたら是非ご連絡ください。

本年も宜しくご支援の程お願いいたします。

## 年頭にあたって



地域医療連携室長 外山 卓二



謹んで新年の御祝詞を申し上げます。

昨年中は、当センターの地域医療連携運営に多大なるご支援をいただき、深く感謝申し上げます。また昨年は、地元前橋市医師会を始めとし、隣接する各地域の医師会のご協力を仰ぎ、当センターの連携活動等を紹介させていただきました。本年も“顔の見える連携”を志し、積極的に活動したいと考えておりますので、引き続き、ご理解とご協力のほど、宜しくお願い申し上げます。

おかげさまで、登録医の連携ネットワークも順調に拡大され、昨年1年の間でも、新たに77医療機関、100名の先生方から、登録医のお申し込みをいただきました。また5,192名もの患者紹介をいただき、そのうち当センターで推進しておりますファックス予約は2,372名となりました。予約システムが順調に機能しており、先生方のご協力に感謝申し上げます。逆紹介につきましても7,056名させていただきました。

今後も更に多くの先生方からのご協力をいただき、連携ネットワークが拡大されることを願っております。

昨年度から地域医療連携室が主体となって開催している「症例検討会」では、毎回多くの先生方にご出席いただき、厚く御礼申し上げます。症例発表では、虚血他4例、不整脈4例、心臓血管外科2例、外科1例、整形外科1例を提示し、ミニレクチャーにつきましては『高血圧治療について』、『ステント血栓症について』、『大動脈疾患の治療』、『心房細動における非薬物治療』と題して当センター担当専門医師が、講演いたしました。また、学術講演では、獨協医科大学越谷病院の犬飼敏彦先生に『糖尿病性血管合併症の病態と治療』について、順天堂大学の代田浩之先生に『冠動脈疾患における積極的脂質低下療法の意義』についてご講演いただきました。今後とも先生方の関心の高いテーマを基に、取り組んでいきたいと考えております。

また、今年度で第3回目となる「登録医大会」は、来月2月4日木曜日に開催いたします。本年も先生方との交流を楽しみにしております。

本年度(昨年4月)から急性心筋梗塞後のクリニカルパスを実施しておりますが、本年度中には、狭心症患者まで対象を広げる予定であります。その際は、先生方のご協力をお願いいたします。

本年も、何卒宜しくお願い申し上げます。

## 健康づくりの運動を当センターの運動施設で始めてみませんか？



健康運動指導士 斉藤 智子



当センターには「総合リハビリテーション棟」という運動施設があり、充実した設備や機材とこの施設を利用した運動指導に対して高い評価をいただいております。この運動施設では心臓リハビリの他に、平成18年度から多くの県民の方々

に参加していただける健康増進プログラムとして「ヘルスアップ事業」を実施しております。ヘルスアップ教室に参加されている多くの方は、医療機関での治療中に主治医から運動を勧められて申し込まれています。服薬されている参加者は全体の8割に達します。

運動療法はメタボリックシンドロームの改善や動脈硬化の改善、脂質代謝の改善、インスリン感受性の改善など多くの効果が確認されている有用な「療法」です。しかし、運動習慣のない方や、服薬をされている方の運動実施には、特別な注意が必要です。運動は「諸刃の剣」と言われる通り、危険性や妥当性の判断が本来必要な身体活動です。ですから、運動に慣れていない方や治療を受けている方には、適切な運動方法の指導や姿勢確認、そして医学的運動処方に基づいた適度な運動を行うことが重要です。

また、膝痛・腰痛が原因で活動が制限されている方も、炎症や状態、ポジションを注意しながらの適度な運動により症状が改善され、歩行能力や移動能力が向上して運動継続を容易にします。この運動継続により心臓病・動脈硬化性疾患の予防が図れ、ひいてはQOL(生活の質)の向上にもつながります。

こうしたことから、病院内において各種専門家の指導・協力のもとに実施される当センターの運動プログラムは、参加者や紹介者にご安心いただける事業と考えております。

医療連携ではそれぞれの地域で相互に力を合わせたネットワークが大切です。昨今の厚生労働省のスローガンでも「1に運動、2に食事、しっかり禁煙、最後にクスリ」となっていますので、「血圧を下げたい」、「脂質代謝の改善」、「血糖値が心配」と思われる方や、「運動療法」をお勧めしたい方がいらっしゃいましたら、是非当センターをご利用ください。

健康運動指導士が「運動療法」を通じて皆様の健康のお手伝いをいたします。どうぞお気軽にご相談ください。

連絡先(リハビリテーション課 健康運動指導士) 027-269-7455(内8332)

☆教室では前後に客観的指標になる写真・歩行ビデオ等も活用して健康的な身体づくりを目指しています。体重・体脂肪の身体組成や血液検査数値の改善、運動量・食事バランスを適正に保つことを目標とした、しなやかで丈夫な身体づくりに取り組めるよう、お手伝いさせていただく事をモットーにしています。☆



## 「第3回登録医大会」のご案内



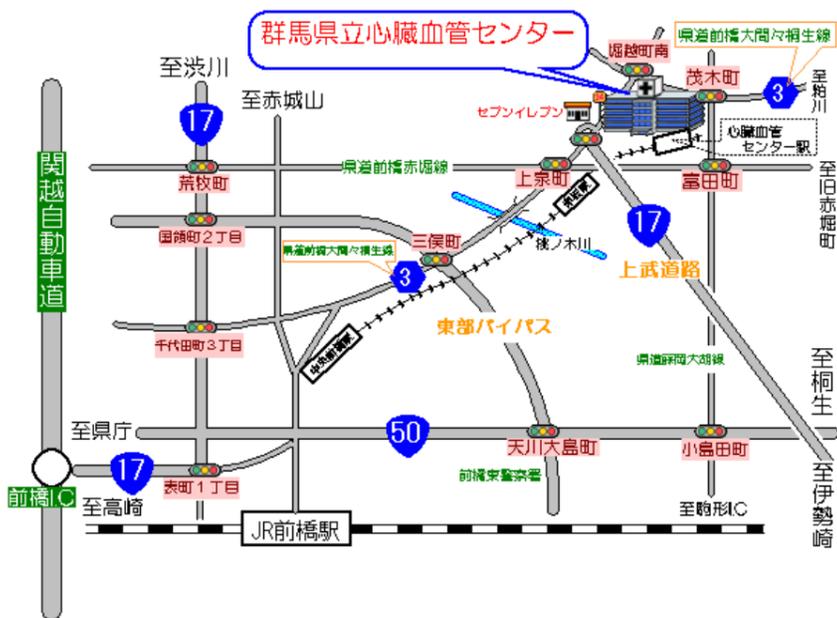
**第3回目となる登録医大会を  
平成22年2月4日木曜日19時より当センターにて開催いたします！**

### □第1部：当センター各診療科のご紹介

19時～ 当センター講堂にて  
♪トピックスなどの最新情報もご紹介したいと考えております・・・

### □第2部：懇親会

20時～ 当センター外来待合ホールにて  
♪立食式です。第2部からのご出席も大歓迎です！  
どうぞお気軽にお越しください・・・



←上武道路をご利用の際は、  
県道3号線に向かい終点降り口で  
信号を左折していただくと  
すぐ右側になります。

♪当日のご出席でも、  
登録医でない先生方も、  
多くの先生方のご出席を  
職員一同、心よりお待ち  
申し上げます・・・



地域の医療機関とともに県民の命を守る  
**群馬県立心臓血管センター**

## 地域医療連携室たより

第15号 平成22年1月 発行

～当センターは“地域医療支援病院”です～



### 病院の理念

～患者本位の医療（温かくて風格のある病院）～  
患者の皆様へ温かい態度で接し、患者様一人一人の権利と安全を  
確保し、最良の医療を提供する病院を目指します。

### 目次

- 外来担当医一覧表のご案内
- 「新年のご挨拶」 院長 大島 茂
- 「年頭にあって」 地域医療連携室長 外山 卓二
- 「健康づくりの運動を当センターの運動施設で始めてみませんか？」  
健康運動指導士 齊藤 智子
- 「第3回登録医大会」のご案内
- 「インフルエンザ予防接種ご協力のお礼」



平成22年1月現在の外来担当医師を別紙外来担当医一覧表にてご案内いたします。  
本年も、どうぞよろしくお願いいたします。



お問い合わせ先  
群馬県立心臓血管センター 〒371-0004 群馬県前橋市亀泉町甲3-12  
担当 地域医療連携室 電話 027-269-7455 (内線2040・2041)  
FAX 027-269-7286  
ホームページ <http://www.cvc.pref.gunma.jp/index.htm>



## インフルエンザ予防接種ご協力のお礼

本年度（昨年4月以降）当センターでは、一般内科閉鎖に伴い、例年行われていたインフルエンザ予防接種（季節性）の対応が出来なくなりました。そのため、登録医を始めとする多くの先生方にご協力をいただき、誠にありがとうございました。昨年は、新型インフルエンザの流行とともに、ワクチン製造過程においては、季節性と新型の比率の問題が生じ、どちらの医療機関でも例年のようなワクチンの確保が困難となるなかでの対応となってしまう、たいへんご迷惑をお掛けしました。改めまして、先生方のご理解とご協力を深く感謝申し上げます。